

8月6日(土)、7日(日) イギリス8日目 および9日目

最終日の今日も澄みきった青空の1日となった。ホストファミリーに別れを告げ、セントエドマンズに別れを告げてロンドンへと向かった。市内に近づくにつれ高いビルが増えていき、テムズ川やタワーブリッジが見えてくる頃には、みな窓から見えるあらゆるものに興奮していた。徒歩観光はバッキンガム宮殿からスタートし、ビッグベン、国会議事堂、セントジェームスパーク、トラファルガー広場など、代表的な名所を次々に見て回った。

その後ピカデリーサーカス広場で自由時間となったのであるが、とにかくあらゆる国々から来た人でごった返している。車の行き来も激しく、道もまっすぐ歩けないような所で無事に指定場所に戻ってくのかと心配したが、全くの杞憂に終わった。そしてついにロンドンを後にし、ヒースロー空港から新潟へと向かっていった。



新潟に着いた時には、まるでタイムトリップしたような感覚におそわれた。それはイギリスで過ごした日々が夢だったのではないかと錯覚に陥るような、不思議な感覚であったが、そう感じたのは私だけだろうか。この後、きっとあんな事をした、こんな事をしたと家族や友人に語るのであろう。しかし、言葉では表し尽くせない実に多くのことを彼らはこのわずかな期間に体験し、体感したはずである。この凝縮された経験の数々は、彼らを成長させ、これからも影響を与えていくだろう。彼らの「人生を変える9日間」に同行し、私自身も多くのことを学ぶことができた。

報告者 引率 渡邊智子